

初孫に初めてばあばと言われた日

ばあば記念日ひそかにつけた

いのち
生命なき　さらさら砂の悲しさよ

握れば指のあいだより落つ

愛し子をやさしく抱き子守唄
いだ

ねむの木揺れる　ゆるゆら揺れる

馬鈴薯の花咲く頃と想ふらむ

きみもこの花を好きと思わる

リンドウ詠む

星の数　きらきら光る　ホタルイカ

竜宮の　くるくる回る　アミノサン

独り身や　おかず食い食い　ひとり酒

うぐいすの　ひとり鳴いて　我の山

伐採の　日陰良くする　日の光

マンボー

ごかいちよう　のれん
御開帳　暖簾くぐれば　お帰りと

暖かこもる　信濃路の宿

諏訪大社　今も昔も　手を合わせ

お願いかけたる　新木御柱
あらかおんばしら

やまびと
山人



リハビリ作品展

令和四年　流れ星の号

